

- ▶ 本県では、全国的な木づかい運動の展開、森林環境譲与税の用途への関心など、木づかいに対する気運の高まりを背景に、木育を実践する企業・団体等は年々増加傾向にあるものの、効果的な木育活動を実践できる人材が不足しており、また、宮崎の地域性を活かした独自のプログラムの不足も課題となっている。
- ▶ このため、令和元年度は、木づかい県民会議において優秀な木づかい事例に感謝状を贈呈し、木づかい気運の醸成を図るとともに、商業施設でのイベントで木育ワークショップを開催した。また、人材育成を含めた「みやざき木育プログラム」の開発検討会を実施し、本県の良さを活かしたプログラム開発と人材育成に取り組んだ。

□ 事業内容

1 みらい「木づかい・木育」推進事業

- ・ 木材の良さや利用することの意義について、県民の理解と認識を深め、木材利用に繋げるための木づかい県民会議の開催
- ・ 「木育ネットワーク部会」を活用し、木に触れる機会を提供するなど森林・林業、木材、環境について分かりやすく県民に伝える木育活動の実施

【事業費】 14,048千円（うち譲与税14,048千円）

- 【実績】
- ・ みやざき木づかい県民会議の開催及び感謝状の贈呈
 - ・ 木育サポーター養成講座の開催
 - ・ 商業施設でのイベントで木育ワークショップを開催
 - ・ 高校生を対象とした木育授業を実施
 - ・ 16の市町村、団体、企業が行う木育活動を支援



(木づかい県民会議の開催)



(木育サポーター養成講座の開催)

□ 事業スキーム

みやざき木づかい県民会議

木の良さや利用することの意義について、県民一人ひとりが理解と認識を深め、県民全体で県産材の地産地消を目指す。

木育ネットワーク部会

「木づかい運動」を具現化する普及啓発及び木育活動の実践

□ 工夫・留意した点

- ・ 宮崎らしい自然、伝統、文化を活かしつつ、実用性のある木育教材とするため、保育士等も交えながら検討を行った。
- ・ 木育ネットワーク部会では、会員相互の活動の情報を共有するため、総会を実施し事例発表を行った。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	115,343千円
②私有林人工林面積（※1）	176,867ha
③人口（※2）	1,104,069人
④林業就業者数（※3）	3,151人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2, 3：「H27年国勢調査」より